

リーディングDXスクール事業【実践事例】

川越市立大東中学校（埼玉県）

【取組内容】 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 面接練習

【目標】

- ・ 面接練習を通してより良い面接を行えるようになる。
- ・ 面接において大事なことを個人で考えてまとめる。

【個別最適な学びの充実について】

面接の様子を動画で撮影することで個別な課題と向き合うことができる。また、模範生徒の様子を見ることで、自分と比較して考えることができる。また、動画という媒体を使うことで後で見返す事ができたり、成長の段階を追っていったりすることができる。一方で、動画を撮影することで生徒の様子や個人情報端末にデータとして残ることによる危険性がある。そのため、情報モラルを意識させ、他の生徒の端末ではなく本人の端末で動画を撮影することで、危険性を減らすように意識する。

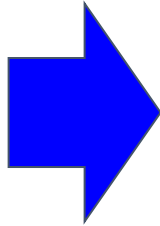


リーディングDXスクール事業【実践事例】

川越市立大東中学校（埼玉県）

【取組内容】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 面接練習

	良いところ	改善点
出席番号		
1	聞き手にしっかりと伝わりやすいように話していた	「はい」とかではなく「えっと」などはっきりとした回答ではなかった
2	答える前にきちんと「はい」と言ってから質問に答えていた	質問に対しての考えている時間が少し長くなってしまっていた
3	目を見て話しているところ 姿勢がいいところ。丁寧な言葉遣いができているところ。	考えている時間が長くて言葉遣いも荒い部分もあった。
4	質問に対して滞りなく答えていたところ	全部話言葉で喋っていて止まっている時間が長い点
5	はっきりと話していてわかりやすかった	きちんと前を見て話していた。けど3人目は間を開けずにやれば良い面接になると思う。
6		
7	はっきりとした声で話していること	少し考える時間が多くなっている場面がある。
8	ハキハキ言えていた	姿勢が悪かった
9	言うべきことをはっきりと聞きやすい声で決めてから喋り始めているところ	喋り始める前に返事し、背筋を伸ばし、目を見て話す



1. 言葉遣いと表現

- 言葉遣いが正しく、質問に対して簡潔かつ適切に回答できているか。

2. 声の大きさと話し方

- 声をはっきりと大きく出ているか。話し方がスムーズで、聞き取りやすい速度であるか。

3. 間の取り方

- 話の間隔が適切で、空きすぎず詰まりすぎず、自然に話せているか。

4. 態度と姿勢

- 良い姿勢で、相手を尊重する態度で受け答えができているか。

5. 目線と表情

- 面接官の目をしっかりと見て話し、表情が自然で硬すぎないか。

事前に撮った動画を見て、良い点や改善点を考えさせ、記入する。他者の視点や意見・考えを参照することができる。教師がchatGPTに要約させ評価の規準と自分たちの視点との比較をさせた。



自分の面接の様子を動画で見た後、一人ひとりに自分の課題をまとめさせる。課題によって、背景の色を変えることで、自分と共通の課題、異なる課題を持っている生徒を瞬時に理解でき、参照させることができる。

